



三小だより

4月号 令和5年 4月7日発行
横浜市立港南台第三小学校 学校だより
電話 833-0251
FAX 833-9204

<https://www.educity.yokohama.lg.jp/school/es/kohnandai3/>

創造力を大切に

校長 岡部 一郎

明るい陽ざしの中、新年度を迎え、校庭に児童の皆さんの明るい声が戻ってきました。保護者の皆様、地域の皆様には日頃から本校の教育に深いご理解とご協力をいただきまして、まことにありがとうございます。どうか今年度もよろしくお祈りいたします。

今年も桜の開花が早く、葉桜の入学式になりましたが、保護者の皆様とともに、「ご入学おめでとう」の声に迎えられた、ピカピカの1年生41人が港南台第三小学校の仲間入りをしました。2年生以上の皆さんには「新しい小さな仲間が、毎日楽しく、明るく、そして何よりも健康に過ごせますよう助けてあげてください。」と始業式で話しました。

本校の学校教育目標は、「夢・夢中・ともに輝く 心豊かな子 自分らしさを発揮し、友だち、まち、自然とかかわることを大切にします」です。新しい仲間を助け、支え合うことで「やさしさ」や「思いやり」の気持ちを育み、教育目標にも掲げられている「心豊かな子」の育成を目指します。

さて、先日横浜市より「第4期横浜市教育振興基本計画」が発表されました。この計画は、国の教育施策に基づき2030年頃の社会を見据えて、横浜の教育が目指すべき姿を描いたプランです。その中に「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」というテーマが掲げられています。令和の時代に入り、子どもたちを取り巻く環境は、大きく変わってきています。多様性を尊重する教育やGIGAスクール構想の実施といった学校の状況をはじめ、社会情勢の変化など、私の小学生時代には想像もできなかったことが、現実のものとなっています。

このような中「ともに未来を創っていく」という言葉は、とても大切だと考えています。子どもたち一人ひとりの「創造力」はとても豊かで、私たち大人がその発想のすばらしさに驚かされることがあります。もちろん基礎基本は大切ですが、一人ひとりの児童の皆さんが豊かな創造力を発揮し、一つの課題、新たな課題に向き合い、様々な解決方法を考えるということが求められています。そして、そのための学習や授業のあり方を私たち教職員が深め、実践することで、新たな価値を創造する大人になってほしいと願っています。

令和5年度が始まります。前述の子どもたちの「創造力」を大切にするとともに、教育活動の中で「安心・自信・喜び」が実感できるようにしていきます。特に、4月は変化の多い時期でもありますので、まずは、港南台第三小学校の全ての子どもたちが安心して、学校生活を送れるよう取り組みます。保護者の皆様、地域の皆様、ご協力のほどよろしくお願いいたします。